

現代家政学科カリキュラムの特長

現代家政学科は、家族や家庭のことから地域社会、経済、生活文化、さらには地球環境まで広い視野を持って、衣・食・住を総合的に学び、現代に即した家政学の専門知識や技術を身につけることのできる学科です。生活者の視点から「家庭」と「社会」を結びつけ、さまざまな分野で人に優しく心豊かな生活を構築、企画、提案できる力を身につけることを目指します。

衣・食・住を含め家政学を横断的に学ぶカリキュラムは、家政系4年制大学のなかでも特色があります。

(1) 4つの学びの領域のカリキュラムで、専門性を高めます。

「食生活」領域では、食を総合的に学び、暮らしに活用する力を養います。

「ハウジング」領域では、インテリアから地球環境まで幅広い視野を持って、くらしやすい住空間を企画立案する力を養います。

「ファッション」領域では、人・社会に役立つファッション力を養います。

「総合家政」領域では、「生活」「家族・家庭」「社会」から人々の生活を考え、提案できる力を養います。

(2) 教室内での講義に加え、実習・演習、見学・調査など、学外での活動も含む多彩な授業が用意されています。

(3) 学びの方向は自分でつくります。

1) 自分の希望する領域を追究し専門性を高められます。あるいは、複数の領域にわたって横断的に学ぶことで、広い視野で生活をとらえることができます。

2) 中学校・高等学校教諭一種免許（家庭）、二級建築士、学芸員をはじめとして、それぞれの領域で資格を目指すこともできます。

